

■特別展記念講演

「大正時代の行橋」

【講師】

山内公二（美夜古郷土史学校事務局長）

【日時】

11/25（土）14:00～

【会場】

コスメイト行橋 企画展示室

【申込方法】

行橋市歴史資料館に電話または窓口で
申込（先着順）※参加費無料です。

■ギャラリートーク（展示解説）

【日時】

11/11（土）、12/9（土）

各回 13:30～

【会場】

行橋市歴史資料館 展示室

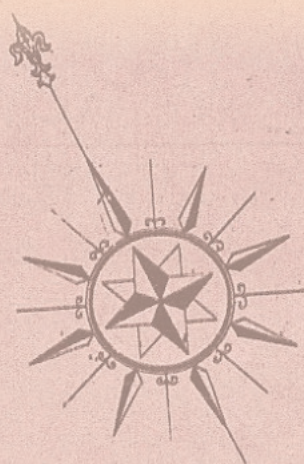
※参加費・事前申込みは不要です。

令和5年度

行橋市歴史資料館特別展

大正時代の行橋

「発展する地域とくらし」



開催期間 2023.10.28（土）～12.18（月）

行橋市歴史資料館

〒824-0005 行橋市中央 1-9-3 コスメイト行橋 2F TEL & FAX 0930-25-3133
【開館】 10:00～18:00（最終入館は 17:45）【休館日】 毎週火曜 【入館料】 無料

特別展「大正時代の行橋ー発展する地域とくらしー」

明治時代に中央集権による近代化の道を突き進んだ日本も、大正時代になると民主主義への意識が高まります。米価高騰による米騒動や、関東大震災など不安定な世相の一方で、大正デモクラシーの時流に乗って大衆文化が花開き「大正モダン」と呼ばれる華やかな時代でもありました。

行橋駅の東側では耕地整理事業が行われ、近代的な市街地が形成されました。百三十銀行行橋支店のレンガ造りの新店舗も完成し、地方都市として発展していきました。また新田原の果樹園など地域の特徴を活かした産業も育成されていきます。明治時代が終わりを告げるころ、行橋のまちに電燈が灯り、電話交換業務も始まります。新しい技術の登場で人々のくらしも変わってゆきます。

またこの時代にさまざまな分野で活躍したこの地方の出身者の軌跡もたどりつつ、大正時代の行橋の発展を振り返ります。



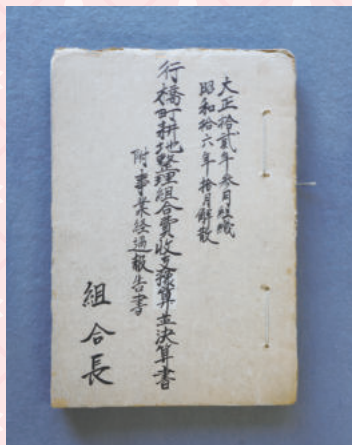
▲百三十銀行行橋支店の棟札
(福岡県指定文化財)



▲座敷ランプ



▲朝日電工所製扇風機



▲行橋町耕地整理組合収支予算
並決算書



▲デルビル磁石式甲号卓上電話機



行橋市歴史資料館

Yukuhashi city historical museum



〒824-0005 行橋市中央 1-9-3 コスメイト行橋 2F

TEL.FAX 0930-25-3133

開館時間 10:00 ~ 18:00 (最終入館 17:45)

火曜日休館 入館無料



Instagram



Facebook